

感染症罹患後の登園届（保護者記入）

仲よし保育園長殿

在園児童名 _____

病名「 _____ 」と診断されて欠席していましたが、 _____ 年 _____ 月 _____ 日 医療機関「 _____ 」(病院名)において病状が回復し、集団生活に支障がないと判断されましたので登園いたします。

保護者名 _____

印 (サイン可) _____

切り取り線

注) 保育園は、乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぐことはもちろん、一人ひとりの子どもが一日快適に生活できることが大切です。

乳幼児がかかりやすい下記の感染症については、登園の目安を参考に、医師の診断に従い、本「感染症罹患後の登園届」の提出をお願いします。(切り取らないままでも結構です)

病 名	感染しやすい期間	登園のめやす
インフルエンザ	症状がある期間（発症前 24 時間から発病後 3 日程度までが最も感染力が強い）	発症した後 5 日を経過し、かつ解熱した後 3 日（乳幼児の場合）を経過するまで
麻疹（はしか）	発症 1 日前から発疹出現後 4 日後まで	解熱後 3 日を経過してから
風疹	発疹出現の前 7 日から後 7 日くらい	発疹が消失してから
水痘（水ぼうそう）	発疹出現 1～2 日前から痂皮形成まで	すべての発疹が痂皮化してから
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	発症 3 日前から耳下腺腫脹後 4 日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから 5 日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで
咽頭結膜熱（プール熱）	発熱、充血等症状が出現した数日間	主な症状が消え 2 日経過してから
流行性角結膜炎	充血、目やに等症状が出現した数日間	感染力が非常に強いいため症状が消失してから
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後 3 週間を経過するまで	特有の咳が消失するまで又は 5 日間の適正な抗菌性物質製剤による治療を終了するまで
腸管出血性大腸菌感染症（O157 等）		症状が治まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48 時間をあけて連続 2 回の検便によっていずれも菌陰性が確認されたもの
溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後 1 日間	抗菌薬内服後 24～48 時間経過していること
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっていること
手足口病	手足や口腔内に水泡・潰瘍が発症した数日間	発熱や口腔内の水泡・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
伝染性紅斑（リンゴ病）	発疹出現前の一週間	全身状態が良いこと
ウイルス性胃腸炎（ノロ、ロタウイルス等）	症状のある間と、症状消失後 1 週間（量は減少していくが数週間ウイルスを排出している）	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること
ヘルパンギーナ	急性期の数日間（便の中に 1 カ月程度ウイルスを排出している）	発熱や口腔内の水泡・潰瘍の影響がなく、普段お食事がとれること
RSウイルス感染症	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
帯状疱疹	水泡を形成している間	全ての発疹が痂皮化してから